

# 全国119社のネットワーク

防犯機器専門の販売網を全国に展開する、(株)セキキュリテイハウス・センター(本部―京都市山科区)。「防犯のプロフェッショナル」として昭和六十一年にネットワーク化が始まり、現在は北海道から沖縄県まで、百十九社の加盟企業を擁している。

その中の一社、セキキュリテイハウスTOP(小田悟社長、名古屋市中村区)は、平成十五年の加盟。名古屋のほか東京、大阪の三拠点でセキキュリテイ事業を展開する。「狙わせない『予防』の部分と、実際の使いやすさの両立を心掛けてい

## 予防と使いやすさを両立

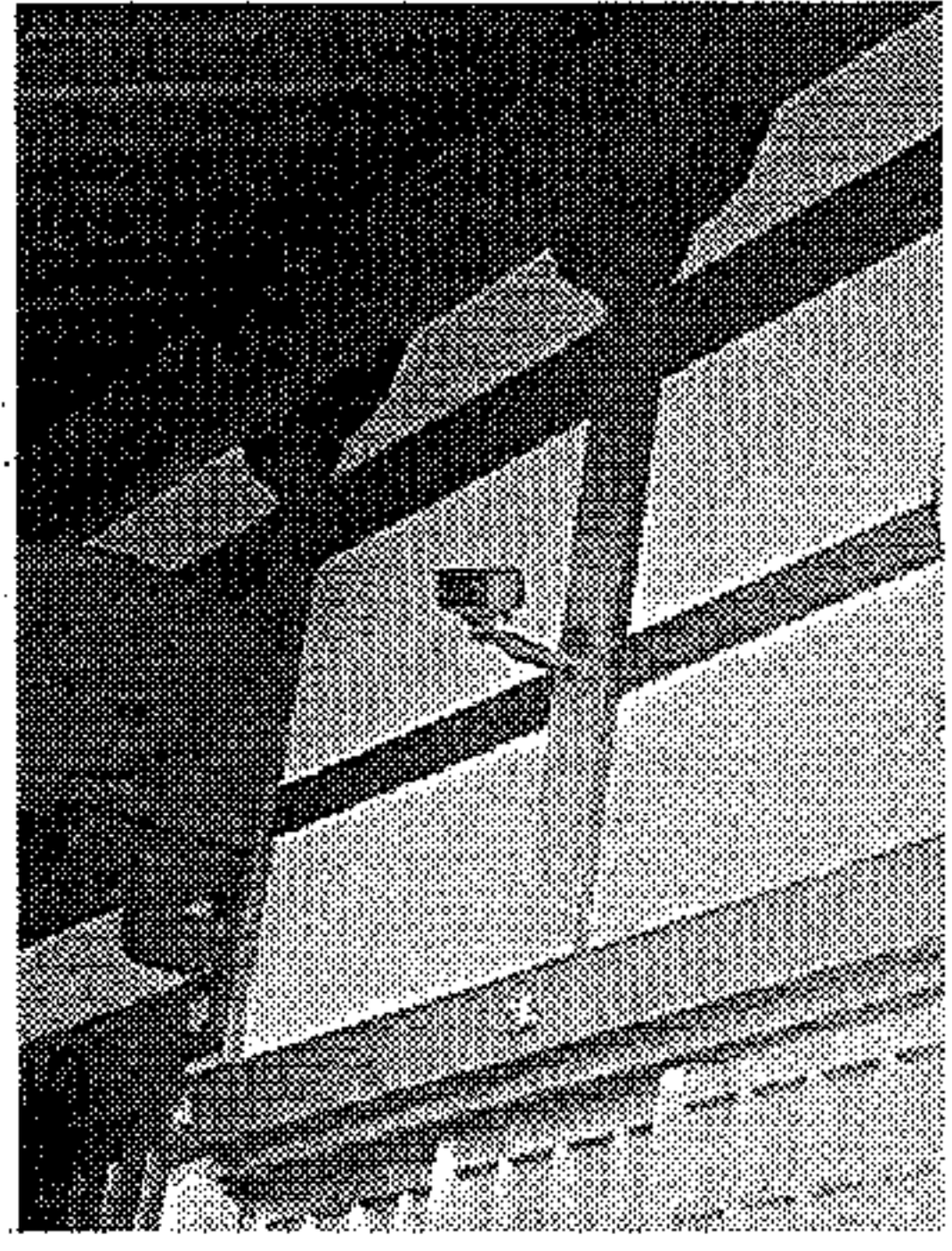
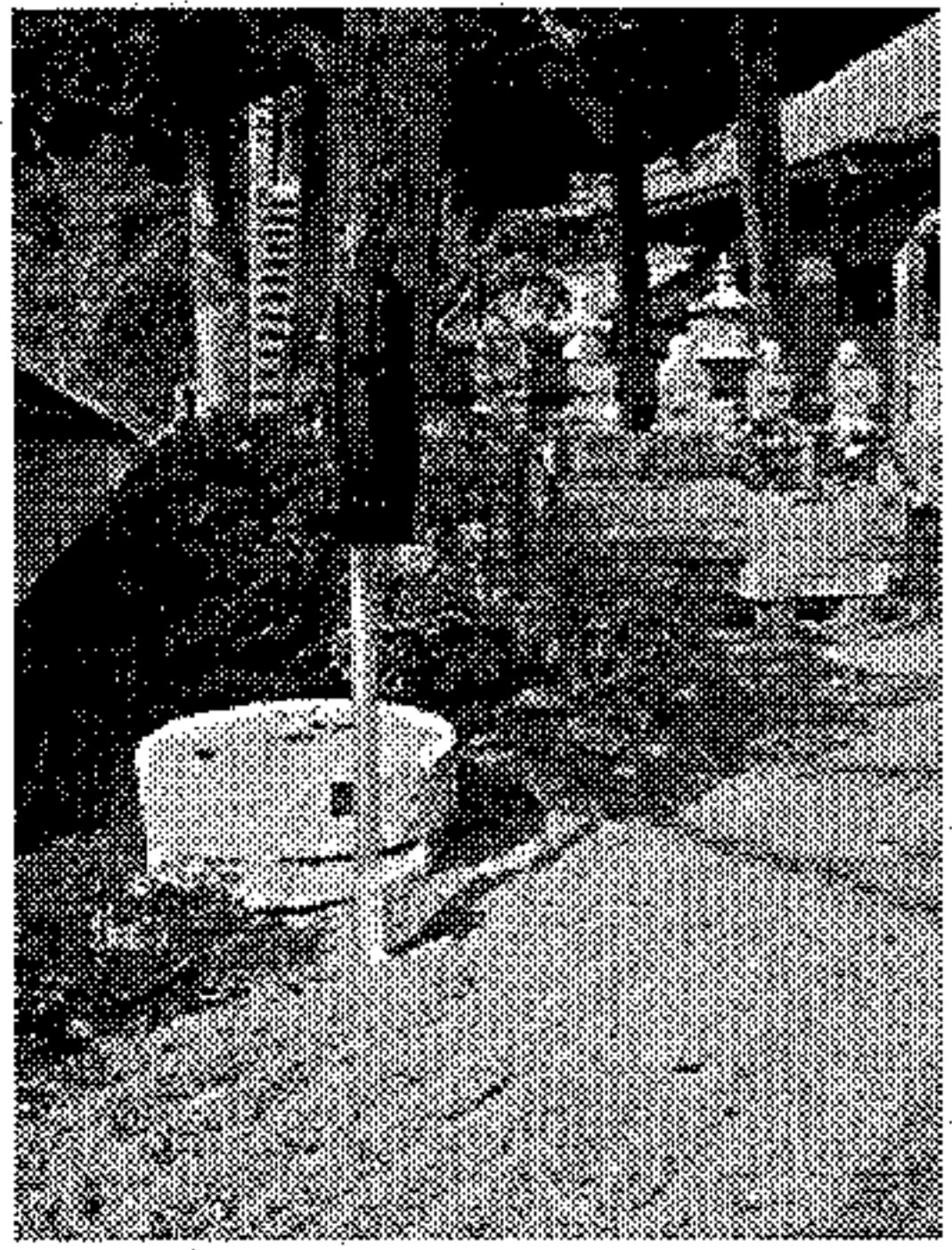
る。防犯面を強化しすぎると二重、三重の警戒になれば、生活する方にとっては不便。侵入できない環境であることを外部にアピールする一方、効果的な防犯システムの設計で生活しやすい環境を維持することが大切」

そう話すのは、セキキュリテイハウスTOP大阪 報システムを設計して納入した。法事などで外出の機会も多い住職は、仏本橋さんが提案したのが

「いたずら対策が心配の種だったという。そこで本橋さんが提案したのが、見計と提案に全力を注ぐ。問い合わせはセキキュリ

「仏像や賽銭箱などの周囲に赤外線センサーやカメラ、威嚇用のベルなど

部企画室―電話〇七五(五八四)六六〇〇。



境内に設置の赤外線センサー①とカメラ②

## 寺社の防犯パートナー

安全と安心を目指して

⑤ 株式会社セキキュリテイハウス・センター提供

を設置した上で、不法な侵入を検知した場合は携帯電話にリアルタイムの動画を送信する仕組み。外出先からカメラの映像を呼び出すこともでき、「いつでもどこでもお寺の安全を確認できる」と評判もいい。

「納入先から『君に任せて良かった』との言葉を聞いた時ほど、防犯の仕事が誇らしく思えた瞬間はありません」という本橋さん。防犯設備士として後輩の指導にも当たりながら、地域で暮らす人々の小さな不安を大きな安心に変えられるよう、防犯システムの設計と提案に全力を注ぐ。

## 携帯で動画転送で見える安心

問い合わせはセキキュリテイハウス・センター本部企画室―電話〇七五(五八四)六六〇〇。